

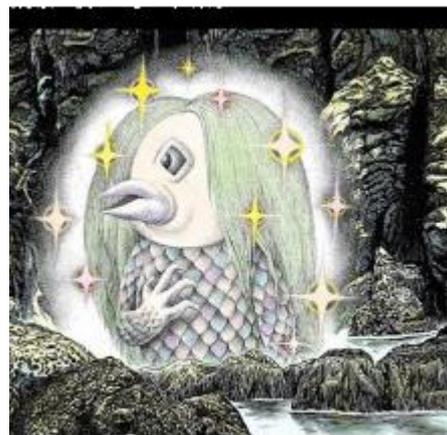
終息へ願いを込め 妖怪「アマビエ」

中村康一前東京双松会事務局長
(北高 16 期、調布市在住)

このところ、SNS、新聞などで話題の疫病退散のシンボル「アマビエ」。

調布市が境港市出身の名誉市民水木しげるさんの描いたアマビエのイラストの提供を始めましたので紹介いたします。(5月1日より、商業利用禁止)

コロナウイルスに負けないよう、一人一人が我慢強い闘いを継続して行きたいものです。



*アマビエ

弘化3年(1846年)4月中旬発行の瓦版によると.....

肥後国(熊本県)の海中に毎夜光るものがあるので、ある役人が行ってみたところ、アマビエと名乗る化け物が現れて、「当年より6ヶ年は豊作となるが、もし流行病が流行ったら人々に私の写しを見せるように」といって、再び海中に没したという。

この瓦版には、髪の毛が長く、くちばしを持った人魚のようなアマビエの姿が描かれ、肥後の役人が写したとある。

(解説: 日本妖怪大事典より 画©水木しげる、編©村上健司 ©2005 角川書店)